

鉢塚緑丘
地区合同

防災訓練

日時 平成22年 5月9日(日)

場所 緑丘小学校グラウンド雨天のとき 同体育館

主催 鉢塚自主防災隊・鉢塚町内会・梅香園防災委員会



避難誘導訓練 9:30~
各集合場所から避難場所である
緑丘小学校まで誘導します。

集合・出発(場所・時間)

9:30 鉢塚1丁目教会前 鉢塚2丁目五社神社前
鉢塚3丁目 釈迦院前
梅香園 秦野会館前

避難訓練

開
会
式
一
〇
時
緑
小

10:10~ 池田警察署よりお話
日ごろの防犯について

池田市内の最近の犯罪傾向
やひったくり犯罪の防止・
空き巣対策などのお話が
あります。
もちろん質問もOK!



10:20~11:20 各コーナーを自由に廻って なんでも体験しましょう!

① 119番通報訓練

もしもの時に

あわてないように練習しましょう!
池田市消防署の消防士さんが
電話の相手をして教えて
くださいます。



② 消火器による初期消火訓練

一度は使っておきたい消火器。
小さな子どもでも使えます!
各家庭に1台は備えましょう。

消火訓練



③ 救出搬送訓練

物干し竿と毛布で

「担架」を作ります。
大きな大人も楽に運べます。
災害時では
何でも利用しましょう。



④ AEDと心肺蘇生法

AEDの使い方を簡単に紹介します。
あなたもAEDに触れてみましょう。
三角巾での応急処置法も
救急救命士が丁寧に指導します。



⑤ 煙のトンネル

火災のとき最も怖いのが、煙!
有害で高温の煙があなたを襲います。
真暗の中であなたは脱出できますか?
今回は無害の煙で恐怖体験を。



⑥ 炊き出し訓練

お湯を注ぐだけで ア〜ラふしぎ!
簡単に美味しい五目飯が出来ました。
一度試食してください!



訓練参加者には、わが家の危機管理ノート『わが家の減災対策』をプレゼント!

大阪で一番！ 「世界に誇れる安全で安心のまち池田」をめざして！！

昨年の池田市内の犯罪発生総数は、1,245件で大阪府下の市において第2位の少なさでした。
今年、府下自治体1番の少なさをめざして《アンダー1000(1000件以下に減らそう)運動》を推進中です。



《地域情報コーナー》

緑小校区犯罪発生状況 (H22/1/1~4/5)

- **空き巣 2件**
外出中にガラスを割って侵入し
現金などをぬすむ(どろぼう)
- **部品ねらい 2件**
駐車中の自動車のガラスを割り
カーナビを盗む(どろぼう)

防犯対策

	している	していない
二重ロックなど 玄関鍵の改善	43%	
短時間の外出でも 戸締りする	40%	
補助錠を取付ける	12%	



空き巣の手口は・・・

侵入口は 掃きだし窓の「ガラス割り」が一番多い。
対策は、補助錠をつけて侵入までの時間を稼ぎましょう。
次いで多いのが「鍵のかけ忘れ」。
ごみ出しなど短時間の 外出が狙われます。



大阪府警察が提供する「安まちメール」に登録しませんか！

ひったくりや子どもに対する声かけ事案の『犯罪発生情報』と『防犯対策情報』を、あなたの携帯電話にリアルタイムでお知らせする情報提供サービスです。登録は『大阪府警察』で検索し画面の表示に従ってください。

全国で建物火災の原因第1位は、『放火もしくは放火の疑い』です。
今年に入っても近隣の都市で連続放火事件が発生しています。

放火事件多発中！



- *家の周りには、新聞紙などの燃えやすいものを置かない。
- *物置や車庫などは、外部から侵入できないように鍵をつける。
- *ごみは、必ず決められた日の朝に出す。
- *夜間、家の周りは外灯などをつけ明るくしておく。
- *自転車・バイクは目立たないところに置く。



建物火災の原因の第2位は、「コンロ」

温度センサー付きコンロやIHコンロでも使い方を
間違るとセンサーが正しく作動しなくて出火します！

- *てんぷら油の量が少ない
 - *鍋の底が汚れていたり、さびやこげが付着している。
 - *耐熱ガラスや土鍋はてんぷら調理には使えません。
- グリル受け皿に食品くずや溜まった油がありませんか。

グリル庫内のお手入れ不足で火災が発生しています。

レバーを押すだけで簡単に火がつく電子式ライター。
子どもへの対策は十分なのだろうか。

- ① 子どもの手の届くところにライターを置かない。
 - ② 子どもにライターを触らせない。
 - ③ ライターをいじっているのを見かけたら、
すぐに注意してやめさせる。
 - ④ 理解できる年齢になれば、子どもに火の怖さを
教える。
- * 3歳前後になれば、ライターを使えるそうです。
親がこれまで以上に 気を配ることが大切です。

「電子式」簡単に着火

池田市市民安全実行委員会は、地域で活動する《安全・安心のまちづくり》を応援します。